

平成29年度 保育園事業報告書

《総括》

平成29年度は、「保育サービスの規制緩和」が進められ、保育を取り巻く環境が大きく変動した年であった。

保育園4園では、保護者の多様なニーズに応え、保護者から選ばれる保育園となるために施設整備を充実させ、地域や家庭との連携のもと、子ども一人ひとりを大切にし、安全で健康的な楽しい保育園生活を送れるよう保育に努めた。

安全面は、日頃より安全・防災対策に取り組んでおり、避難消火訓練や職員への事故対策検討会を実施し、園児の事故防止や防災・防犯意識の強化に努め、その結果大きな事故や怪我もなく無事に終える事が出来た。

人材確保については、待機児童解消のための新たな保育園開園が加速したことで、保育士採用が困難となり、十分な補充が出来ていない状態でスタートした。そのような中、OB職員に働きかけを積極的に行い、非常勤保育士4名の採用ができ、勤務体制の工夫をしながら保育を行うことができた。

経営面では、最終的に4園で年間5,131名（定員の107%）の弾力的な受け入れを行い、安定した収入を確保できた。

なお、保育の質の向上を目指すために、県内外の研修に参加し、職員一人ひとりが保育士としての専門知識の向上に取り組んだ。